

編集後記

長い梅雨がようやく終わり、真夏の季節がやってきました。皆さま、厳しい暑さのなか、研究に診療に励まれていると思います。

さて、今月の特集を既に読まれたでしょうか。感染性眼疾患に対する外科的治療です。

最新の情報と正しい知識の確認にとっても役にたつ感染症対策の決定版だと思います。眼内炎は忘れた頃にやってきます。長くに術後眼内炎を経験していない時期が続くと、つい油断をしてしまうものです。私の施設でも、先月白内障術後眼内炎を経験しました。幸い患者さんの術後経過に大きな問題は生じなかったものの、しばらく術後眼内炎の発症がなかったものから、スタッフは動揺とともに冷静な対応を忘れてしまいました。そして、院内の感染対策室の管理下に置かれ、しばらく周術期の厳しいモニタリングが行われました。この経験を経て、いかに感染症をなくすかについて真剣な議論が交わされ、より安全な手術治療へと改善したと考えています。最終的に手術の安全に対する意識の維持や向上が眼内炎の予防にいかにか大切であ

るかを身をもって理解しました。また、特集でも、筆者らが触れていますように感染症に対する正確な知識と同様に、日頃の術野の清潔に対する意識の持ちようが術後眼内炎の予防に重要であることがうかがわれます。また、適切な診断と迅速な治療の開始がいかに重要であるかも本特集より学ぶことができます。

この時期、比較的長い夏季休暇を取られる先生も多いかと思います。大学病院でも働き方改革により年間に必ず一定の休暇を取ることが今年から義務付けられています。いままで、忙しく休暇を返上で仕事に勤しんでいた先生も、比較的多くおられると思いますが、この法律の施行により今年からは休まないとい罰則になります。ですので、休みを取る努力をしている先生方も多いと思います。従来型の日本人が苦手とする分野ですね。休みが美德の時代です。読者の皆様には大いに夏休みをエンジョイして欲しいと思います。できれば、休暇移動の車中のお暇なときに今月号の『眼科』を御一読ください。

(門之園一明・記)

編集：富田剛司・坪田一男・後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均
編集顧問：所 敬・小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・三村 治・飯島裕幸

「眼科」 第61巻 第8号 8月号

2019年8月5日発行（毎月1回5日発行）
定価（本体2,800円＋税）

年間講読料金 定価（本体42,100円＋税）
〔年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

Tel 03 (3811) 7165〔編集室直通〕

Tel 03 (3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。